

令和6年度かわさき教師塾

☆『明日の先生日記』☆



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

子どもの笑顔が
あふれるまち
かわさき

『明日、子どもたちの笑顔の前に立っている私』をイメージする学び

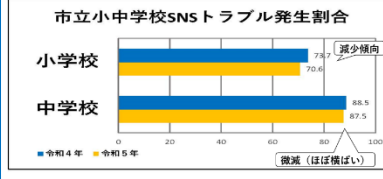
12月14日(土) 情報モラル教育の必要性和進め方、GIGAスクール構想についての講義、実際にGIGA端末を使っての授業づくりや留意点についての演習、グループ交流が行われました。

令和6年12月14日(土) 日程

- 10:05 様々な立場からの情報モラル
- 11:10 かわさきGIGAスクール構想
- 12:00 ~昼食・休憩~
- 12:30~12:50 「教員採用試験個別相談会」
- 13:00 GIGA端末を効果的に活用した授業づくりの実際(グループ協議)
- 14:45 振り返り・事務連絡 15:00 終了

今後起こりうる新たな危険や問題に対して、状況に応じて適切な判断ができるように

SNSトラブルは小学校7割、中学校9割で発生



GIGA端末に触れ、「人とのつながり」という温かい面を知ったが、簡単に人を傷けてしまう面もある。その情報モラル教育こそ生身の人間である教師の仕事だと感じた。

席が離れている人と考えを共有する場面と直接的な対話をする場面を設けた授業をしたい。



カラフルで多様な川崎だからこそ個別最適な学習のためにICTが新たな道具だと感じた。

情報モラル教育をいつ行うか

各教科等の授業内やGIGA端末などの使用時に機会をとらえて話題にしたり、考えさせたりしてください!



年々、タイピングの音が速く聞こえてきます。

文字を書くことや発言することが苦手な子にとって、端末でつながることでスポットがあたり、「良い意見だね」などと認められる機会が増えはれりなと思った。



他の人と自分の意見を比較して、更に書き加えたり、質問したりすることで、思考を深めることができると思った。

授業中に不具合が起こってしまうことがあると思うが、その際にも迅速に対処できるような授業づくりをしていきたい。

2. かわさきGIGAスクール構想について

子どもたちに必要な力

- 各教科等での学びをつなぎ、探究し、課題を解決できる
- 様々な人と共に学び合い、社会課題を解決する中で、自分自身について考える
- 人間関係づくり・協力を物事に取り組める力・譲ったり譲られたり...自分の考えを伝えられる・自分でやける。または協力してもらう...等々 ※学業経営や自らの教育活動の中で育てていくことが大切

使いはれりということではなくて、どんな力を身に付けさせたいのかという目的を見失わず、効果を考え適切な場面で活用できるようにしていきたい。



こんな子どもの笑顔を引き出せる教員になりたい! 授業を作りりたい!



実習3! 行ってみたい端末を使う授業とこれからがんばりたいことについて考えてみましょう!

グループワークの内容を基に次の2つについて考えてみましょう。

- ① 端末を用いて、行ってみたい授業
- ② ①を実現するためにこれから頑張りたいこと

【手順】
 (1) 講習のしおりから実習3の「個人用ワークシート」を印刷し、スプレッドシートを開く
 (2) 自分の番号のシートを開く ※IDの下2桁の数字のシートに入力
 (3) 実習3①、②の記入欄に入力する ※なるべく具体的に!

一人一台の端末だからこそ、他の人とつながっている実感を子どもが持てるようにすることが授業を行う際に大切だと思う。

端末を開いたときの子どもたちのキラキラした笑顔が忘れられません。私も初めて端末を使い、新鮮で楽しかったです。



休憩になっても熱い話し合いが続いている!



ICTの活用とともに、基盤となる学級経営を作るための人間関係、信頼関係を構築できるようにしたいと思った。



屋休みの教員採用試験相談会では、受講生から「一次試験や場面指導の対策」「大学推薦」「赴任地区の希望」「臨任採用」「1年目のリアルな勤務時間」「部活の担当」等の相談があり、真剣に聴く表情が印象的でした。

令和7年1月、川崎市教育委員会教職員人事課による川崎市の教員を志望・検討している方、教員採用予定者(合格者)等に向けた市立学校見学会(授業参観・現職教員との懇談会等)が開催されます。(要申込)